

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和5年2月13日 VOL. 174

出前講座「在宅医療を支える訪問看護編」を実施！

令和5年2月3日（金）岡部町三輪オレンジ町内会第2集会所において、オレンジ町内会の地域談話室参加者を対象に、志太訪問看護ステーションの大石看護師、三輪医院の川村相談員を講師に「みんなで支える地域の笑顔（在宅医療を支える みかた 訪問看護編）」をテーマに出前講座を実施しました。



講座内容

大石看護師からは、「訪問看護は、『病気や障害があっても、住み慣れた自宅で自分らしく生活したい。』そんな思いを、看護の側面から支援するサービスです。」との説明がありました。

参加者の皆さんは、うなずいたり、メモをとったりするなど、熱心に聴講されました。

2人の講師から訪問看護の制度についての解説や、訪問している事例の紹介のあと、訪問看護の実際を紹介したDVDを視聴しました。

また、自分や家族が医療や介護が必要となったときを考え、自分の想いを家族や身近な人に伝えておくことが大切であることや「想いつむぎノート」の説明がありました。



大石訪問看護師

参加者の言葉から

- ・「地域医療に熱心な三輪医院の訪問診療や訪問看護があったり、安心すこやかセンター亀寿の郷もある。恵まれていると思う。」
- ・「訪問看護や訪問介護を利用したくなったら、ぜひ相談したい。」
- ・「また、このような勉強会を企画したい。」

これまでの自分自身の生き方や今後の人生への想いをつむぐための「想いつむぎノート」は、藤枝市福祉センター（きすみれ）や市内地区交流センター、市役所等で配布しています。



バックNoの検索は

